

近畿版

大阪支社

大阪市西区西本町
1-14-3 〒550-0005
TEL 06(6536)2601
FAX 06(6536)7603

取引企業に「アンケート」

客観的な評価を把握

小田鉄工(兵)

兵庫県のMグレードファブ、小田鉄工(加西市鴨谷町、小田岳人社長)はこのほど、取引企業に対し、自社の特徴について「アンケート」を実施した。アンケートをもちに客観的な視点で自社を分析し、今後の経営に反映させることを目的として、取り引きする鋼材店や協力加工をやり取りするファブ、小田鉄工(加西市鴨谷町、小田岳人社長)はこのほど、取引企業に対し、自社の特徴について「アンケート」を実施した。アンケートをもちに客観的な視点で自社を分析し、今後の経営に反映させることを目的として、取り引きする鋼材店や協力加工をやり取りするファブ

ブに対して、同社に発注するきっかけを聞いた。回答では「紹介されて」や「以前の仕事で溶接品質が高く、評価できたから」、「対応が早く助かったから」などの意見が集まり、社員のモチベーションアップやさらなる研さんにつなげた。また、取り引きする上での要望も集まり、今後に反映させていくとしている。

小田社長は「日頃は聞くことがない客観的な評価を聞くことで、プラスもマイナスも経営にフィードバックすることができると話している。」



ロートアイアン事業で社員が製作したストーブ。現在、動物の形をした薪ストーブなど豊かな発想で製作に挑戦中

小田社長は「日頃は聞くことがない客観的な評価を聞くことで、プラスもマイナスも経営にフィードバックすることができると話している。」

●社員のロートアイアン技術が向上 3年前から同社が取り組んでいるロートアイアン事業において、社

員の技術力が成長している。現在、動物の形をした薪ストーブなど、豊かな発想で製作に挑戦しており、技

術の蓄積は、今後進めていく教室事業や製品販売事業の基盤になるものと期待される。

工場を増築・大組口ボ導入 事務所棟も新設

安川鉄工建設(奈良)

奈良県のMグレードファブ、安川鉄工建設(葛城市忍海170、安川孜社長)はこのほど、既存工場の東側に建屋を増築したほか、溶接ロボットシステム複数台を増設するなど加工能力の大幅な向上を図った。増築した工場建屋はスパ

ン16×65mで、おもに大組立などの柱部や軽量形鋼加工ラインとして活用する。天井クレーンは5ト1基と2・8トタイプを2基設置した。これまでの、一次加工から梁加工、柱組立場や塗装製品置き場としていた工場(スパン22×長さ64m)と連結コアや仕口部の加工、階段などの付帯工事に使用していた西工場の2棟体制を取っていたが、受注物件の大型化や納期対応を目的に増築を決めた。新工場



増築した工場建屋

設備面では、神戸製鋼所の柱大組立溶接ロボットシステム(10トタイプ)を新規に増設し、加工能力の向上を図った。同工場には、アマダ製のビームワーカー「CNCBW-150」も設置している。また、昨年には、MH Iソリューションテクノロジーズの可搬型溶接ロボット「石松」を3台導入した。これら一連の増設により、溶接ロボットは既設の大組立溶接システムと合わせて5台体制

となった。安川社長は「溶接の自動化を進めたことで品質均一化が図れたほか、計画的な工程管理が可能となった」と述べる。最近の受注物件は、数百ト規模の介護施設や物流倉庫、店舗や公共施設が中心で、昨年の年間加工トン数は約4000ト。

●事務所棟を新設 安川社長は「日当たりの良い事務所棟で新しいスタートを切りたい」と話した。元の事務所棟は社員食堂として使用する。



事務所棟を新設